

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年9月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	顧問である、言語聴覚士や理学療法士等、専門職を中心とし運動プログラムや生活プログラムが固定化しないように見直し、全職員で、空き時間を利用して内容を考えて、共有しています。	感覚統合をベースとした運動プログラムではお子様の特性や性格などにも配慮し、様々な感覚を体感していただけるように種目を工夫し、また、利用児の特性や強みに合わせてその都度変えながらすすめています。できたこ	より専門的な支援ができるように、専門職会議や研修会を企画したり参加するように努め、職員全員で共有していきま
2	構造化されたスケジュールで、お子様の発達段階に合わせた、専門性のある支援を受けることで安心して通っていただける。	自由時間は子どもたちが楽しく、発散できるような遊びを考え、職員やお友達とコミュニケーションをとれるように工夫しています。また、お子様に合わせた内容のプログラムを提供する時間を設けています。利用児の特性や強みに合わせてその都度変えながらすすめています。	事業所内で支援会議やケース会議を充実させたいき、他事業所との連携をしていきます。スーパーバイズも受けて全職員の支援力向上に努めていきます。
3	提供記録を専用アプリで報告させていただくことで普段の活動の様子を毎回写真で見えていただくことができるようになりました。	活動の様子がわかるように写真を添付してその時の様子もわかりやすく報告させていただいています。	笑みりい～の他店舗との合同会議を開き、教材や物品の貸し借りをを行い、多様に対応できるように支援の幅を拡げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の内容は周知できているが、安全確保に対して、保護者様への周知が十分ではない。	避難訓練を実施し経路の確認も行なっているが実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を保護者様に周知ができていない。	周知できるようにお手紙でお知らせさせていただく。
2	空いた時間に研修することができるようになったが、外部の研修への参加の機会が取れないことが多い。	事業所全体で研修の機会を作っているが、外部の研修へは、日程調整が難しく、一部の職員しか受ける機会がなかなかとれない。	外部の研修に職員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
3	園や地域など他の子どもたちと活動する機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっており、時間の調整が難しい。	引き続き、地域の子どもやきょうだい児も一緒に参加できるようなイベントを考えていきます。サービス担当者会議への参加は必ずしていき、交流していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田

公表日 令和7年10月30日

利用児童数 34名

回収数 28名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28					これからも、十分に活動できる空間を設定させていただき、安心して運動ができるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			1		職員配置については規定を満たした運営に取り組んでおります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1	1		階段が急	階段での移動は必ず職員が前後について、手すりを必ず持っただき、安全に上り降りするように対応させていただいています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	28					プログラム終了ごとに床の消毒や換気など、活動しやすい空間づくりを意識しております
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1				職員の専門性を高めるため、定期的に研修などを行い、安定した支援ができるよう努めております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					「脳と体の統合」を目的とした専門的な運動プログラム、「生活能力向上」を目的とした生活プログラム、それぞれのお困りごとに応じた課題別プログラムを一人一人のお子様をみて提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1				お子様や保護者様のニーズをくみ取り計画書に反映できるよう努めております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			4		項目ごとに内容に沿った計画書を作成させていただいており、お子様1人1人にしっかりと関わらせていただいています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27			1		お子様の課題が確認できるよう、計画書を個人ファイルの目を通しやすい場所に挟んでいます。職員1人1人がお子様の課題にアプローチできるよう心がけてまいります
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1				プログラムが固定化しないよう職員間でアイデアを出し合い、笑みりいへの他事業所とも共有し、物品の貸し借り等しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか	6	3	7	12		交流する機会があれば調整していきたいと考えています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				契約時以外にもご不明点がございましたら、その都度対応させていただいています。いつでもお声掛けください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26			1		丁寧な説明を心がけておりますが、わかりにくいようでしたら改めて説明させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2		7		事業所内ではペアレントトレーニングは実施していませんが、外部での研修のお知らせは保護者様にLINEで伝えています。職員一人ひとり、お子様や家族様に寄り添った対応ができるようにいつも話し合っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1				LINEや電話、送迎時や連絡ノート、連絡アプリでのやり取りの中で、お子様の様子を共有させていただいております
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	3				半年に1回の個別面談や必要に応じてお話をさせていただき、発達状況や健康状態などの都度確認させていただき支援に繋げていきます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1			お子様1人1人の特性や課題を理解し、お子様や保護者様に寄り添えるよう努めております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	2		10	年に2回のペースで保護者会を開催させていただく予定です。保護者様同士が連携できる場を設けていけるよう努め、イベントを開催する時はきょうだい児の交流もできるようにしていきたいと思えます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		3	お子様や保護者様からお話をいただいた場合は、迅速な対応を心がけておりますが、至らない場合もございますので、その時はいつでもお声掛けください。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27				1	お子様にはわかりやすく、端的に声掛けをしています。保護者様へはlineや電話で迅速に説明や情報共有を心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25				3	SNSでの発信は賛成ではありません。個別で十分だと思います。SNSの発信では写真掲載の承諾書をとらせていただき、掲載しないでくださいにチェックをしていただいたご利用児童は掲載しないようにしています。また、掲載してもよいにチェックをしていただいた利用児童はモザイク処理をして個人を特定できないように掲載させていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				1	個人情報の取り扱いには十分注意して、対応させていただいています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2		1	ご契約時に対応の説明させていただいておりますが、マニュアルなど、いつでも閲覧できますのでお申し付けくださいませ。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2		1	年に2回、訓練を実施しています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27				1	使っている運動道具はその都度点検し、安全計画については全職員は共有して毎月点検しているが、保護者様への周知は細かくはできていないので、周知するようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25				3	事故などが発生しないよう、職員1人1人十分に気を付けておりますが、今後、万が一、そのようなことが発生した場合は、迅速に対応ができるよう努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28				運動でしっかり発散し、生活プログラムでは、お子様の好きや得意を見つけていけるように支援していきます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			子供たちがわくわくするような、遊びや、チャレンジしてみようと思える関わりをしていきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			いつも笑みい〜南花田の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。これからも楽しく子どもたちの学びになるような、プログラムやイベントも企画し、満足していただけるように努めていきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田	公表日	令和7年 10 月 30 日
------	--------------------	-----	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		必要な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切な人員配置数です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		はじめの会から、終わりの会迄、何をするか示したり、色分けしたテープで、視覚的に待つところなど分かりやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		常時換気は行き、利用クラスごとに消毒や清掃をおこなっています。	洗面台も清潔に保つように周知していきます。夏になると蟻が上がってきていることもあったので、駆除しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		2階の静かな部屋でクールダウンして落ちついて活動ができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日、利用しているお子さんの活動記録を各職員が記載し、モニタリングに反映させて、次の個別支援計画書にも反映している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年、アンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り業務の改善や共有を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼、終礼やケース会議、支援会議、プログラムのすすめ方など職員で話をする機会を多く取りようとしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		新しく入職した職員には療育にあたっての研修を施設内でして、外部の研修も案内があれば受講するようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		2週間ごとにプログラムの変更はしています。毎月何をするか支援プログラムは作成しています。	前もって公表はできていないのですが、その時々活動の様子とプログラムを連絡アプリでご報告させていただいています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者面談、普段から利用児のニーズを聞き取り個別支援計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		普段から個別支援計画の目標を見ながら、記録を記入する時、子どもの課題やニーズ保護者のニーズが反映するようにしています。また、朝礼や終礼、支援会議で共通理解をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		保護者面談、普段から利用児のニーズを聞き取り個別支援計画の反映しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		その日の利用児の行動観察をしてその日のうちに一人一人どうだったか、全職員で話し合いをして、記録もしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		それぞれのお子様の発達年齢や今後の成長について保護者様と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	保護者様の聞き取りをした希望や職員の意見がより反映されるようにケース会議を充実して開催しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		空いた時間で決めてチームで考えてすすめています。	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	プログラムが固定化されないように毎月考えて決めています。		
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	職員間で利用児の状況を共有し、個別活動と集団活動を組み合わせる計画の作成をして、支援しています。		
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	朝礼でその日の支援内容や注意点、役割分担についてそれぞれの仕事の確認しています。		
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	毎日終礼時に、支援の振り返りを行い共有し、朝礼でも同じく振り返った点をどうだったか伝え合っています。		
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	毎日の支援の様子を個別支援計画に照らし合わせ活動記録の中に記載し、検証して改善するようにしている。		
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	少なくとも6か月に一度見直しています。必要に応じて見直しをして計画の変更も行っていきます。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	児童発達支援管理責任者が中心に参加しているが必要に応じて指導員も参加することがあります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	必要に応じて利用時が通う、保育園やこども園、幼稚園に保護者様に承諾していただき連携することがあります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	保護者様からご依頼があれば、モニタリング兼通所報告書を作成し、利用時の様子を伝え、共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	サービス担当者会議や送迎の連絡事項などで情報共有をしている。	今後、就学先の小学校や特別支援学校との支援内容の情報共有をする機会を作っていきたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	スーパーバイズの助言を受ける機会をもうけ、日々の支援に活かすようにしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	保護者様の同意のもと、利用されているお子様の園に伺い、他のお子様の様子も併せて見せていただくようにしています。	今後は交流する機会が持てるように考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	その日の様子を写真を撮って連絡アプリに掲載して伝え、保護者様に直接お話しして共通理解ができるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	外部研修の案内で保護者向けの研修の案内があればlineで一斉に送り、研修等の呼びかけをしています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	体験見学や契約にお越しいただいたときに丁寧にお伝えするようにしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	保護者面談を行い保護者様のご希望をお聞きし、お子様からは支援中にニーズを聞き取りできる限り聞いて反映している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	支援計画内容を説明し、同意を得た上で署名していただいています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	定期的に面談し保護者からの相談に対して助言や支援を行うように心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	保護者交流会は年2回企画しています。イベントプログラムにはきょうだい児も参加できるような企画も立て呼びかけています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	相談や申し入れがあった場合は職員全体で共有し迅速に対応するようにしている。	配慮が足りない場合もあるので聞き取りをしっかりと、対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	HPやSNSで活動報告をしています。Lineで活動の様子を保護者様に送り確認していただいています。	今回の保護者様へのアンケートではSNSでの活動報告は不要だという意見もありましたが、個人情報等、細心の注意を払ってご報告させていただきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	個人情報の取り扱いには気を付けています。個人を特定されないようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	お子様にはわかりやすい表現で伝えることや視覚支援も行っています。保護者様との意思疎通や情報伝達はLINEや電話、ご自宅に伺ってするようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	今年はキッチンカーをご招待することはできなかったのですが、地域のイベントの情報をお知らせして保護者様同士で誘い合っただけで参加できるようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	マニュアル等を策定し定期的に映像をみて、実際に訓練を行っています。	マニュアルはあるが、わかりやすく整理してどの職員も見えてわかるようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	BCPを策定して、災害時の物品を購入したり、定期的に避難、救出の訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	体験時や契約時、保護者面談の時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	普段はおやつは提供していませんがイベントなどでおやつを提供する場合は保護者様に確認して提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	安全計画を作成し月一回安全点検を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	契約時の重要事項で説明させていただいています。	災害時の緊急連絡先の確認や来所時に災害が発生した場合の避難訓練など保護者様に詳しく説明する機会を作ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	ヒヤリハットの事例が発生したときは、終礼や朝礼で周知し、報告書の作成をして職員全員にサインしてもらっています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	定期的に虐待防止の研修を行い、職員の意識を高めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現時点で身体拘束をしないといけない児童はいませんが、身体拘束のマニュアルをもとに必要に応じて、保護者様に相談後、個別支援計画書に記載し、同意書にサインをいただいた上で、『実施・経過・記録』をしていきます。	